

PTX

対象	胃癌				
投与順	抗癌剤名	投与量	手技	投与時間・速度	投与日(d1,d8等)
1	パクリタキセル	80mg/m ²	div	1hr	d 1,8,15
1コース期間	4週間				
総コース数	PDIになるまで				
投与開始基準	<ul style="list-style-type: none"> ・好中球 ≥ 2000 ・PLT ≥ 10万 ・HGB ≥ 8.0 ・T-Bil ≤ 1.5 ・AST、ALT ≤ 100 ・クレアチニン ≤ 1.5 				
減量規定・中止基準	<p>第1段階減量は60mg/m² 第2段階減量は40mg/m² 減量基準は</p> <ul style="list-style-type: none"> ① WBC < 1000/mm³未満 ② 血小板 < 3万/mm³未満 ③ 白血球・血小板を除く副作用が grade 3以上 ④ Grade 3の発熱性好中球減少症 ⑤ 末梢神経障害が grade 2以上の場合 1段階減量 <p>肝障害に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ① AST及びALTが10×施設正常値上限(ULN)未満かつ、血清ビリルビン:1.26~2×ULNで1段階減量 ② AST及びALTが10×施設正常値上限(ULN)未満かつ、血清ビリルビン:2.01~5×ULNで2段階減量 ③ AST及びALTが10×施設正常値上限(ULN)以上、又は、血清ビリルビン:5×ULNを超える場合は中止 				
2コース目以降の投与開始基準	投与開始基準に準じる				
コース間での休薬の規定	なし				
投与量の増量規定	なし				
注意すべき副作用	骨髄抑制、下痢、吐気				

PTX

1コース期間 28日
 投与所要時間 2時間

ルート	Rp	薬剤名	標準投与量	投与方法	投与速度	day1	day8	day15
主管	1	カイトリルバッグ 100mL デカドロン 6.6mg ファモチジン(20) 1A ★レスタミン錠10mg 5錠内服、 又はポララミン注5mg 1Aを追加		div	15min	○	○	○
	2	生食 100mL		div	30min	○	○	○
	3	生食 250mL パクリタキセル 【 】mg	80 mg/m ²	div	60min	○	○	○
	4	生食 50mL		div	15min	○	○	○

コメント

パクリタキセル投与30分前にレスタミン錠10mg 5錠内服
 内服困難な場合は、レスタミン内服をポララミン注5mg1Aに変更。

1回目投与時にアレルギー症状が認められなかった場合は、2回目以降はデカドロンを3.3mgに減量することがある。

Day8以降は外来で投与可。

Reference: